

## 公開シンポジウム

### 「特定健診・特定保健指導の評価と今後の課題－健康づくりのための包括的なアプローチ」

1. 主 催：日本学術会議臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同生活習慣病対策分科会、日本糖尿病教育・看護学会
2. 日 時：平成22年10月11日（月） 10：00～11：40
3. 場 所：東京国際フォーラム 第5会場 ホールB5（2）  
（東京都千代田区丸の内3丁目5番1号）
4. 開催趣旨：  
現在の日本において、生活習慣病という概念が国民に浸透し、健康志向を高めていること、また特定健診・特定保健指導が国をあげて取り組まれていることは評価に値する。一方で、いわゆる“健康”が狭義に捉えられる傾向も見受けられ、生活習慣病の発症が個人のライフスタイルに起因することが強調されることの弊害もみられている。本シンポジウムでは、生活習慣病が個人のライフスタイルのみによらない、社会環境や価値観にも影響を受けていることなどを正しく伝え、健康を包括的に捉える視点を打ち出す。これは、特定健診・特定保健指導の実績を正しく評価し、今後の健康づくりに向けた包括的アプローチのあり方を提示するものとなる。

#### 5. 次第

座長 正木治恵

（日本学術会議連携会員、千葉大学大学院看護学研究科長、日本糖尿病教育・看護学会理事）

松澤佑次

（日本学術会議第二部会員、財団法人住友病院院長）

#### ○シンポジストによる講演

- （1）特定健診・特定保健指導の評価と課題－行政の立場から  
宮寄 雅則（厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室）
- （2）特定健診・特定保健指導の実績と課題－協会健保の立場から  
六路恵子（全国健康保険協会）
- （3）特定保健指導における食生活支援－成功事例の質的分析から  
武見ゆかり（日本学術会議連携会員、女子栄養大学大学院）

● 参加費無料、事前申し込み不要です。

● お問い合わせ先：運営準備室

日本コンベンションサービス株式会社 担当：松本 佳子

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302

E-mail: [jaden15@convention.co.jp](mailto:jaden15@convention.co.jp)